

市報 やまぐち

 <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>
 <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/keitai/index.html>
 koho@city.yamaguchi.lg.jp

 **湯**
5th Anniversary
Yamaguchi Center for Arts and Media
YUDA
ART PROJECT

小児救急医療を守る
「おいでませ」
山口国体」に向けて
新小郡図書館開館

P6 P4 P2



2008 **10.1**
October
No.72

ようこそ癒しの森へ
森林セラピー
基地 (説明は17ページ)





小児救急医療を守る

市内の小児救急医療の現状について、お知らせします。地域の医療を守るため、私たちにできることを考えるきっかけにしてください。■問い合わせ 市健康増進課(☎083-921-2666)

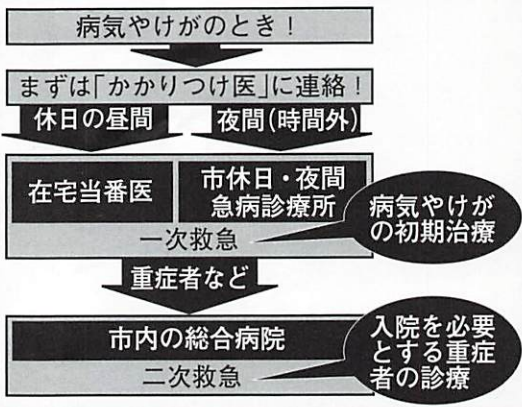
ご存じですか？

市内の救急医療体制

市内の休日・夜間の救急医療体制の主なものは、「在宅当番医」「市休日・夜間急病診療所」などが病気やけがを初期の段階で診療する「一次救急」、総合病院が重症者を診療する「二次救急」があります。

子どもが急な病気やけがのときは、まず「かかりつけ医」に連絡し、連絡がつかない場合は、一次救急で受診しましょう。

■山口市の休日・夜間の救急医療体制



市内の二次救急である総合病院は、重症者を診療する重要な役割を担っています。現在、その勤務医の人数が減り、一人ひとりの負担が大きくなってきています。私も勤務医だったときには、通常の勤務に引き続き、夜間の当直で寝る間もなく外来患者を診察し、さらに通常の勤務に就く32時間労働をしていました。

勤務医の負担が増す中、軽症にもかかわらず、時間外に二次救急を利用している方が多いのが現状です。このような方がこれからも増えると、本来の役割である重症者の診療ができなくなります。また負担増により勤務医が辞めてしまい、市内の二次救急が崩壊してしまいかも知れません。

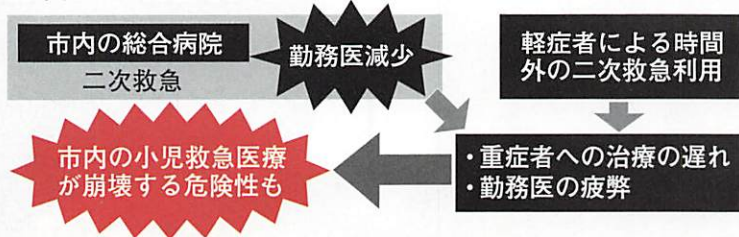
それを防ぐためには「熱が出たらから夜でもちよっと診てもらおう」「昼間は

小児救急医療存続のため「一次救急」の利用を

まつお小児科 松尾清巧医師



■市内の小児救急医療の現状



小児救急医療の崩壊を防ぐため、私たちにできること

- ・一次救急(在宅当番医や市休日・夜間急病診療所)を利用する
- ・家庭で子どもの状態を把握する

保育園があるから、夜になって診てもらおうではなく、重症の方を除き、昼間は開業医、夜間は「市休日・夜間急病診療所」の利用を勧めます。また最近では核家族化が進んでいるため、家庭で子どもの状態の把握が難しくなっています。熱が出たときなど、「普段の子どもの様子」と、どう違うのか「急を要する症状なのか」を判断する力を養っていただきたいと思います。

医師不足などの問題もありますが、今ある小児医療の現状を危機感を持って認識し、自分たち一人ひとりが当事者意識を持って行動することが大事になっています。



市健康増進課 吉富徹明主幹

「市休日・夜間急病診療所」は、365日、19時～22時の間、病気やけがを初期の段階で診療する一次救急としての役割を担っています。小児の診療は、木曜日曜は小児科医が、月～水曜は小児診療の特別講習を受けた内科医が行っています。診療時間や場所などは、市報15日号の裏表紙に休日当番医表と一緒に掲載し、周知を図っています。

「市休日・夜間急病診療所」は、365日、19時～22時の間、病気やけがを初期の段階で診療する一次救急としての役割を担っています。小児の診療は、木曜日曜は小児科医が、月～水曜は小児診療の特別講習を受けた内科医が行っています。診療時間や場所などは、市報15日号の裏表紙に休日当番医表と一緒に掲載し、周知を図っています。

入院治療が必要な救急患者が、二次救急である総合病院で適切な処置を受けることができるよう、夜間はまず市休日・夜間急病診療所を利用してもらいたいと思います。また口うるから、かかりつけ医に急な診察を要する場合の対応を相談するなどのちょっとした心配掛け一つが、病院の勤務医の負担軽減、地域の小児救急医療の存続へとつながります。みなさんのご協力をお願いします。

ます。

市では、急な発熱など、いきなりとてき慌てないよう「子どもの病気のときのホームケア」と題し、各地域の保健センター等で育児講座も行っていきます。また10月19日(日)、県総合保健会館(吉敷下東三丁目一)で「子どもの救急市民講座」を開催します。(市報9月15日号11ページ参照) 医療・行政・市民が、一緒に市内の小児救急医療を考える良い機会です。ぜひお越しください。



診察の様子



市休日・夜間急病診療所 ☎083-925-2266

- 診療時間 19時～22時
- 診療科目 内科、外科、小児科
- ※歯科…日曜、祝日、8/14～16、年末年始の9時～13時

守る子どもたち

守る小児救急医療

すこやか育ち隊 発起人
小崎 ほみ
井出崎 小百合
深川 美花



小崎ほみさん

「すこやか育ち隊」は、子育て中のお母さんを中心とした、子どもの健康と地域の小児医療を考える会です。現在、市内の総合病院などの小児科勤務医の人数が減り、市の小児救急医療が崩壊の危機を迎えています。そのような中、医療従事者や行政だけではなく小児医療を利用する私たちも解決に向け行動する必要を感じ、今年6月から月一回、座談会を開いています。活動の中で「市内の小児救急医療体制を維持していくにはどうすれば良いか」「子どもが病気になる際、どのように医療機関を利用すれば良いか」「子育て経験の少ない親が、子どもの病気をめぐる不安を解消するためには、どうすれば良いか」などを話し合い、また医療・行政機関を訪問

するなどし、解決策を検討しています。会を通じ、まず一次救急で受診し、重症や緊急の場合は二次救急という市内の小児救急医療の仕組みや「小児救急医療電話相談」などを知ることができました。

10月1日から、所得にかかわらず医療費の助成を受けられる対象が、3歳未満まで拡大されるそうです。しかし「医療費が無料だから」という理由で安易な受診が増えると、市内の小児救急医療が崩壊するかもしれません。制度をより良く活用するため、私たちにできることを考えていく必要があると思っています。

みんなが安心して暮らせるまちづくりのため、親・市民として学び・行動していきたいですね。

※小児救急医療電話相談：医療機関を受診するべきか迷ったとき、看護師や医師が助言します。

■相談時間 毎日19時～22時

■電話番号 ☎083-921-2755 (#8000)



月1回、たくさんのお母さんが参加し、座談会形式で勉強会を行っています。

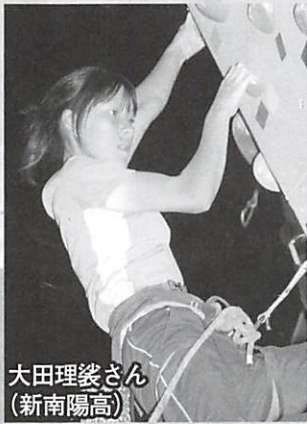
■問い合わせ ☎083-928-1722
✉sukoyaka3@gmail.com

平成23年10月1日(土)~11日(火)

山口国体

■問い合わせ 市国体推進局 (☎083-984-8120)

開催まで、あと



大田理紗さん (新南陽高)

日ごろの練習は?
週4回程度、部活動とジュニアクラブの活動時に県セミナーパークで練習しています。国体の監督の父に、ほかの選手と一緒に連れてきてもらっています。

競技を始めたのはお父さんの影響?
はい。父に勧められて、中学2年から始めました。始めは遊び半分だったけれど、だんだん楽しくなりま

茂垣さんが競技を始めたきっかけは?
中学2年の時、父の知人にクライミング(山岳競技)に誘われ始めました。なぜプロになろうと?

クライミングで上を目指すには、集中できる環境が必要と決意しました。大会での思いは?
海外へ行って友だちができ、交流できたことが思い出深いですね。

プロクライマーは、日ごろどんなことをしているのですか?
普段は県セミナーパークで練習しながら、空いている時間にアルバイトをし、国内外の大会に出ています。本場のヨーロッパやアメリカはレベルが高いので、今後もどんどん出場したいですね。

競技のどこが楽しいですか?
自分の力だけでどこまで登れるか、挑戦できる場所。登れなかったルートなどが登りきれたときは、達成感があり、すごくうれしいです。逆につらいのは、厳しい練習で手の皮が年に何十回もむけてしまうことです。

山口国体への思いと目標を
成年として出場できるので、大会に向けて頑張りたいです。まずはこの秋の大分国体で、優勝したいです。

思い出の大会は?
ジュニアオリンピックです。8月の大会では、初めて決勝へ進めました。

3年後の山口国体への思いと目標を
山口国体を最大の目標に励んでいるので、良い結果が残せると良いですね。つらい時に声援を受けると少しでも高く登れると思うので、応援してください。

目標は、今年の大分国体で決勝へ進むことと、海外の大会で上位に入ることです。



茂垣太さん(プロクライマー) 昨年の秋田国体優勝、2003年のワールドカップ3位

注目選手に聴く!

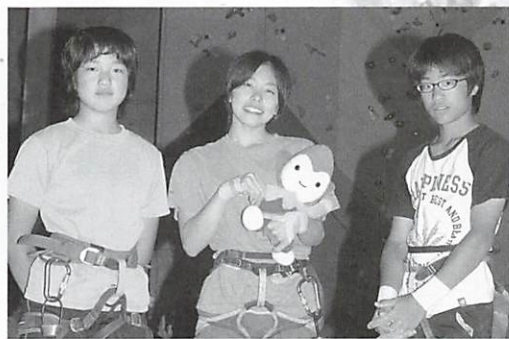
かかと、その魅力は?
津小学4年の夏休みにぎらら浜で体験会があり、やってみたら楽しくて、できる場所を探していたら、山口県の山岳ジュニアクラブに出会いました。登り終わった時の達成感が一番楽しいところ。自分に負けて落ちそうになるとついけど、打ち勝って登れたときはすごく楽しいです。

山小学4年の秋から始めました。私も同じ体験会が楽しくて。魅力

日本のものと違うんですね
津壁と壁がながっているのが横断でき、より長いルートができるんです。

小田さんは、優勝されたとか
小すくうれしかったです。県内からの出場者が、いつも一緒にいるこの3人だったので心強かったです。

クライミングを始めたきっかけと、その魅力は?
市内で開催される正式競技の「山岳競技」。競技会場のセミナーパークで日々練習し、活躍中に、競技の魅力などを伺いました。



左から、山縣茜さん(須々万中)、小田桃花さん(小郡中)、津守暁斗さん(大内中)

3年後の国体に向けて一言
津これだけの施設ができ、期待がかかっているのので、応えられるように頑張りたいです。

山選手として出場し、優勝を目指したいです。

小自分の県で国体が開催される時に、選手としてちようどいい年齢なのはすごく幸せなこと。県民みんなが喜べるような結果になりたいなと思います。

は、前に登れなかったルートを登れるようになったときの達成感です。

小本格的に始めたのは、小学4年の夏からです。みんなと同じように、ぎらら浜での体験がきっかけで、高いところが好きなので、すごくおもしろかったです。その後の大会で、ジュニアクラブのことを知りました。頭や手、足など、体全部を使い自分の力で一つひとつ登って行くところが好きです。



大会マスコット「ちよる」です。みなさんと一緒に山口国体に向けて頑張ります。

おいでませ!

「おいでませ!山口国体」を感じるMAP

マップ

2011(平成23)年開催の「おいでませ!山口国体」まであと3年。開催される競技をチェックしてみませんか。あなたの身近な競技会場や練習会場を訪れる選手のみなさんを「おもてなし」の心で迎えましょう!

地区名 競技会場



競技名



競技名(練習会場)

吉敷 維新公園



陸上競技



体操



弓道



ラグビー



体操(鴻南中)



新体操(良城小)

宮野 西京スタジアム



軟式野球



軟式野球(宮野中)

仁保 県警察学校



ライフル射撃(CP)

小郡 小郡体育館



バレーボール



バレーボール

(市小郡ふれあいセンター、小郡小)



水泳(市小郡屋内プール)



ラグビー(山口農業高)

大内 やまぐち

リフレッシュパーク



バレーボール



バレーボール

(大内小、大内中)



体操(山口中央高)



軟式野球(大内中)

阿知須 宇部72カントリークラブ



ゴルフ

名田島 山口南総合センター



バレーボール

阿知須 きらら博記念公園



水泳



サッカー



ホッケー



サッカー

(阿知須小、阿知須中)



ホッケー

(あじす元気ランド)

秋穂二島 県セミナーパーク



山岳

練習会場のみ

小鯖



バレーボール
(小鯖小)

平川



水泳(西京高)



体操(山口大)

白石



新体操
(山口高、白石中)



ラグビー(山口高)

陶



バレーボール
(陶小)

秋穂



バレーボール
(生涯学習施設)

徳地



バレーボール
(市徳地体育館)

小郡図書館



11月3日(月・祝) 10時 開館



小郡図書館の特徴

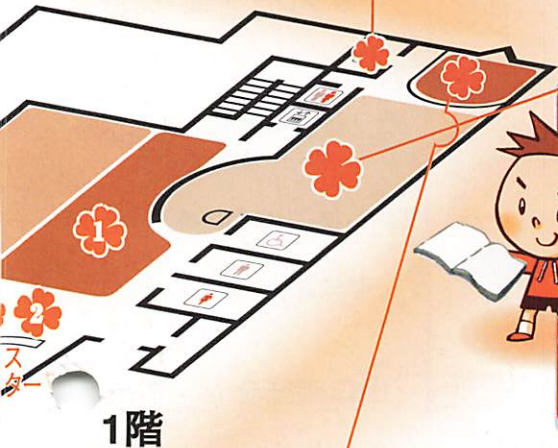
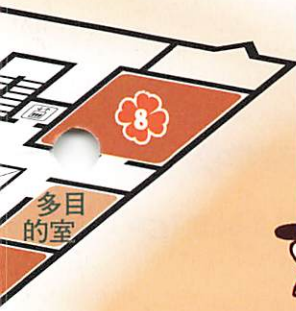
1

白と木目調で統一された館内は、温かな親しみやすい空間です。



授乳室

赤ちゃん連れでも安心。ベビーベッドもあります。



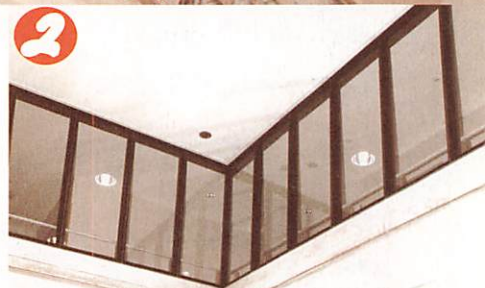
1階



こどもコーナー

楽しい本がたくさんあります。

2



天井が高く、明るく開放的な雰囲気です。



おはなしのへや

「ひすい会」寄贈の舞台装置や558点の紙芝居などを使ったおはなし会を、定期的に行います。



CDコーナー



蔵書検索



AVコーナー



3

いろんなところにいすがあり、館内のどこでもくつろげます。

■小郡図書館の位置付け、役割

配本車の導入、団体貸出等を通じ、市南部地域の拠点館としての役割を担います。

小郡図書館



和室読書コーナー



畳の上で本が読め、くつろげます。掘ごたつ風のテーブルもあります。

新聞・雑誌コーナー



新聞14紙、雑誌154タイトルをそろえています。



8 会議室



9 団体室

どんな身近に役あなたの図

絵本

「お野さい大すき」原画展

お野菜が大嫌いな主人公 だいちゃんが、はなっこりーやイチゴの収穫を体験し、野菜好きになる楽しいお話の原画を展示します。

食について考えるきっかけにもなります。ぜひ、お子さんとご覧ください。

■期間

11月3日
(月・祝)～
17日(月)

■場所

こども
コーナー

お野さい大すき



2階

書庫

一般図書コーナー

サービスカウン

郷土・参考資料室



ティーンズコーナー



閲覧席



インターネットコーナー



新 小郡図書館



小郡下郷609-1 (小郡総合支所となり)
☎ 083-973-0098 FAX 083-973-2422
✉ og-toshokan@city.yamaguchi.lg.jp

■開館時間 10時～19時(土・日曜は17時まで)

■休館日 火曜、祝日、年末年始、図書整理日

■利用カードを作成できる方

市内在住・在勤・在学者、防府市・宇部市・周南市・阿東町・美祢市美東町在住の方

※発行済みの市立図書館利用カードは利用可

■利用カード作成時の持参品

住所、氏名が確認できるもの(運転免許証、健康保険証、学生証等)

■貸出限度数(15日以内)

図書…10冊/雑誌…5点/CD・DVD…3点

■面積・構造 敷地3081.64㎡、延床1986.23㎡、鉄筋コンクリート造2階建て

■収納可能冊数 13万冊

■座席 135席 ■駐車場 57台分

新「小郡図書館」

小郡総合支所

駐車場

小郡公民館

小郡グリーンプラザ

市小郡保健福祉センター

市小郡文化資料館

小郡郵便局

〇〇 ← 至 宇部

〇〇 → 至 山口

市政トピックス

「第2回山口・阿東広域県央中核都市研究会」を開催

8月22日、山口総合支所で「第2回山口・阿東広域県央中核都市研究会」を開催しました。

研究会では「広域県央中核都市」の創造に向けて、山口市と阿東町が一体的にまちづくりを図っていく方向性を示した「山口・阿東広域県央中核都市ビジョン」の中間報告と意見交換を行いました。

中間報告は、広域県央中核都市の将来像を描くとともに、中山間地域の役割と農林業振興、多様な地域資源の付加価値化による新産業の創造等の方向性を示しています。

全体の構成は「広域県央中核都市の基本的な方向」「将来都市像」「現状と課題」「都市構造のあり方と空間的な広が」「施策の展開方向・戦略・重点プロジェクト」「国・県との連携」「新たなライフスタイルの展開」の7章からなっています。

特に「施策



研究会の様子

の展開方向・戦略・重点プロジェクト」では、多彩な地域資源を有する中山間地域での、地域間の気候差を生かした農業機械の相互利用、年間を通じ収穫できる多様な農作物の栽培、廃材等を燃料資源として活用する「バイオマス」など、新たな振興策を提案しています。

委員からは「両市町の現状・課題について、短期間のうちに良く整理されている」「推進体制とその方向性も含めて、研究してほしい」「住民の目線で、分かりやすくしてほしい」「内容が抽象的なものが多い」「具体性のある展望や方向性を、もっと見たい」「農林業等の関係団体・組織との検証も必要」などの意見が出ました。

今後は、研究会で出された委員からの意見を踏まえ、ビジョンの内容をより現実的なものとするため、各関係機関・民間企業との調整・協議を行い、市民への説明会を経て、最終案を取りまとめる予定です。

詳細は、市ホームページ(表紙参照)をご覧ください。

山口中核都市推進室
☎0803・934・2746

「平成20年第4回市議会定例会」を開催

「平成20年第4回市議会定例会」が、9月1日～22日の間、開催されました。

市長から「山口・小郡都市核づくりマスタープラン」や「山口・阿東



定例会の様子

広域県央中核都市ビジョン中間報告」「韓国公州市との姉妹都市締結15周年記念事業」など、市政の概況について

「おおいた団体」出場者激励壮行会を行いました

9月27日～10月7日に大分県で行われる「第63回大分国民体育大会(チャレンジャー)おおいた団体」出場者の激励会を、9月18日、山口総合支所で開催しました。市内の出場者50人のうち、出席した35人に市長から激励金が贈呈されました。

市長は「日ごろの練習の成果を、十分に発揮してほしい」と激励しました。

出場者を代表してあいさつに立った能美新吾さん(山口県鴻城高 陸上競技出場)は「精一杯頑張りたい」と、意気



報告しました。

また市長から「平成20年度市一般会計補正予算」「市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正」など、23議案と諮問一件が、議員・委員会から「市議会会議規則の一部改正」など4議案が提出され、審議の結果、すべて可決・承認されました。

市議会事務局

☎0803・934・2854

http://www.city.yamaguchi.lg.jp/gikai/org/

gikai/org/

込みを語りました。

選手らの活躍は、平成23年(2011年)の「第66回山口国民体育大会(おおいだませー!山口国体)」に向けた市民の機運向上のきっかけとしても、期待されます。

山口国体推進局

☎0803・984・8120



壮行会の様子



学校給食調理業務の民間委託 これからも安心・安全な 学校給食を届けます

学校給食での食育や衛生管理の向上を図る中、限られた財源を有効に活用しながら、安心・安全な給食を今後も届けるために、市では学校給食調理業務の民間委託を計画しています。平成21年度は、大内中・鴻南中での実施を予定し、保護者に説明を行っています。

■問い合わせ 市教育総務課 (☎083-934-2859)

市業務の民間化と背景

少子高齢化などの社会の構造の変化や住民の価値観の変化により、行政への要望は多様化、高度化しています。

さらに、国・県から地方自治体への権限移譲などの地方分権が進む一方で、税収や地方交付税など、市の収入は減少する厳しい財政状況にあり、すべてのサービスに行政だけで対応できなくなっています。

そこで市では、さまざまな行政改革を進め、平成19年3月「市行政改革大綱」を策定し、民間活力を導入する官民協働の仕組みづくりに取り組んでいます。

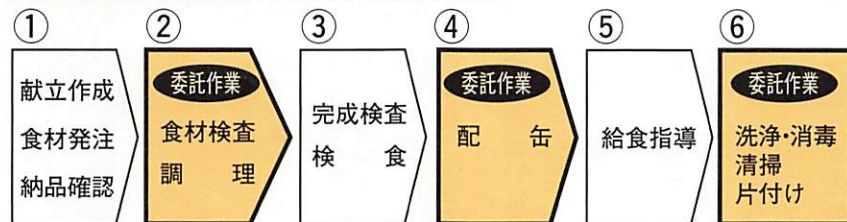
平成20年3月には、「市民間化推進実行計画」を策定し、各種施設の管理・運営業務や上下水道料金の収納窓口業務等の民間委託を、さらに進めました。また学校給食調理業務も、民間委託を進める対象としています。

学校給食調理業務の民間委託の内容

市教育委員会では、現在の給食の質を維持しながら安心・安全な学校給食を安定的に提供するため、調理や洗浄・清掃などの学校給食調理業務の一部を民間に委託する予定です。平成21年度は、大内中・鴻南中での実施を計画しています。

- ・ 献立や食材調達は、市教育委員会・学校で行います。
- ・ 現在使用している調理場で調理します。
- ・ これまで通り、地産地消や食育の推進に取り組みます。
- ・ 給食費は、食材費に使用しています。委託による変更はありません。

■給食調理業務の流れと委託する作業の内容



民間委託の効果

- ・ 民間と市が持つそれぞれの専門性や実績を合わせた、よりよい学校給食の提供につながります。
- ・ 民間化で削減が見込まれる経費の額は、食育などの学校教育の充実に活用する予定です。
- ・ 平成21年度の実施計画分で、市が直営した場合（基準の職員数を配置）の経費と民間委託した場合の経費を試算・比較し、年間約800万円の経費削減を見込んでいます。

今後も市報等でお知らせしていきます

市教育委員会では、給食調理業務の民間化について、関係校の保護者への説明会を行っています。市民のみなさんには、今後も順次民間化に関することについて、市報等を通じお知らせしていきます。



せき
関 ヨシミさん
平川在住

連絡先 083・932・1145

「使わなくなった綿布団をごみにしたくない」と、今まで布団の古綿から仕立て直したシャツはなんと79枚。日々、資源物の再生利用に取り組み「物を大事にする心」を伝えている関ヨシミさんにお話を聞きました。

● シャツ作りのきっかけは？

32年前、旧小郡町の焼却炉の前で山積みになっていた、私の家にもあるような新品同様の布団を目にし、燃やしてしまうより仕方がないのか、と頭を抱えました。そんな折、戦争中の記録に、布団の綿で靴下を編んだ話があり「綿

から靴下」になるのならば「綿から糸」にもなるはずだと気が付きました。それからは、綿畑を見学し糸紡ぎを実習、機織を身に付け、娘にすてきなシャツを着せようと布団綿の再生が始まりました。あれから20年、現在80枚目を織っています。



ヨシミさん手製のシャツを着た娘さん



● 綿が、どのようにシャツになるのですか？

まず布団の綿を取り出して染め、糸車で糸を紡ぎます。そ

の糸を織機にかけ、シャツを仕立てます。すべて手作業のため、1年に多くても3枚出上来るかどうかです。中でも、昔の布団の綿は、国産で無農薬の良質な綿が多く、ごみとはとても考えられません。しかもボロボロになったシャツは、ふきんやぞうきんとして、とことん使えます。洗っても丈夫、素材が安全、そして何より生活で使えるものに美しく生まれ変わらせることで、ごみを減らすことができます。のがいいですね。



シャツ作りを描いた娘さんの絵本

● 全国からの反響も大きいそうですね。

染織の専門誌にこの取り組みが掲載され、テレビ局や新聞社の取材がたくさんありました。そのおかげで、福岡県で講演や作品の展示を行いました。また全国から手紙やファックス、ときには布団の綿を再生した作品も届きます。娘は絵本、息子はホームページで作品を紹介してくれ

るなど、家族の応援が励みになります。こうして、みんなが「物を大事にする心」でつながっていることが、何よりうれしいです。



● これからの願いは？

良い材料はお金を出して買わなくても、実は身の回りにたくさんあります。布団の古綿もその一つ。例えば、地域の人が集まる場所に糸車が一つあったら、楽しく糸を紡いでリサイクルでき、ごみを減らせます。これからも「物を大事にする心」が広がって、県内でもごみを減らす活動を行うグループができ、その輪が広がることを願っています。私自身は、100枚製作を目指します。

第5回 ドネーションパーティー 応援券受付中！

市民活動団体への100円の寄付で、まちを元気にするイベント「ドネーションパーティー」を11月29日(土)10時~16時に開催します。(詳細は市報11月1日号で)これに先駆け、**応援券(1枚100円)の購入の受け付け**を始めます。あなたの思いを100円に込め、投票してください！

今年の
エントリー団体

- エントリー団体
- ① NPO 法人あっと
- ② アムネスティ・山口
- ③ アステ・アステ~バンングラデシュを知る国際協力の会
- ④ NPO 法人フリースクール AUC
- ⑤ アレルギーっ子の会ぼれぼれ
- ⑥ NPO 法人ひつじの会



「平川地区子ども見守り隊」の見守り活動の様子



「サイレント掃除」の様子

「夢をもち、瞳かがやく平川っ子の育成」とのかかわりの中で、「を学校教育目標に、県内で最も多い1041人の子どもたちが元気に学んでいます。平川小には3つの「合言葉」があり、1つ目の「安全」では、互いに迷惑の掛からない廊下歩行を心掛けています。また地域の協力もあり、約160人の地域住民から成る「平川地区子ども見守り隊」が登下校時の安全を守ってくれています。2つ目の「あいさついっぱい」では、地域の方へも大きな声であ

さつし、3つ目の「後始末しっかり」では、「だまる・見つける・手伝う」を心掛けて「サイレント掃除」に取り組んでいます。平川地区では、学校・家庭・社会が連携して「人と共に生きる学園都市」を目指し「平川地区人権学習推進協議会」を立ち上げ、平川小は平川中と共に人権学習を推進する中心的な役割を担っています。10月17日は人権教育にかかわる授業に加え、一人では達成が困難な課題であっても仲間と協力しながら温かい集団づくりを

目指すプログラム「AFPY（アフェイ）」を取り入れた参観日を行います。保護者や地域のみなさんにも広く参観を呼び掛け、学校・家庭・地域が一体となった学校づくりを目指します。

これからも平川小では、地域とともに、心豊かな平川っ子を育てていきます。
※AFPY：「アドベンチャー・フレンドシップ・プログラムイン・山口」の略語

by 平川小 平川地区ふれあいクリーン作戦

わがまち **自慢!**



今年の活動の様子

「平川」コミュニティ推進協議会が主催する、地区の5月の恒例行事「平川地区ふれあいクリーン作戦」。環境美化「防犯」「交通安全」を願い、地区を流れる九田川周辺を中心に、各自自治会の通学路、生活道路などを清掃します。地域のみなさんと親子が総出で参加するこの活動では、地域のつながりや親子のふれあいの大切さを学ぶとともに、子どもたちの社会奉仕活動への意識を育てています。

山口を元気にする人やグループの情報をお寄せください!

企画編集 NPO法人ゆにーく
☎090-7128-1601
☎083-989-4193
✉3nogag81@s-plan.net



さぼらんで情報

市民活動支援センター さぼらんで
道場門前一丁目2-19

☎ 083-901-1166 FAX 083-901-1165

☞ <http://www.saporant.jp/>

~十人十色のまちづくり人が集う~ 10月のマンスリーサロン

芸術の秋にふさわしく、ミニコンサートや缶バッジ作りなど、子どもから大人まで楽しいだけでは終わらせない催しをご用意!
団体スタッフの生の声を、聞いてみませんか?

●日時 10月25日(土)10時~15時

- 参加団体
- ・アステ・アステ~バンングラデシュを知る国際協力の会~
 - ・アムネスティ・山口
 - ・NPO法人ひつじの会
 - ・山口ケニアを知る会
 - ・NPO法人フリースクールAUC
 - ・YAN (Yamaguchi Art Network)

後期高齢者医療保険料 納付方法の変更受付中

保険料の納付は原則、年金から引き去る「特別徴収」で行います。ただし次のいずれかの要件を満たす方は、申し出により口座振替で納付できます。

申し出は随時受け付けます。ただし10月9日(木)までの申し出であれば、12月分の年金からの引き去り中止、口座振替への切り替えが可能です。

詳しくは、お問い合わせください。

①国民健康保険料を確実に納付している本人が、自分の口座から振り替える場合

②年金収入が180万円未満の方の、世帯主または配偶者の口座から振り替える場合

②の場合、社会保険料の控除額に影響が出るため、世帯全体の所得税・住民税の負担額が下がる場合があります。

申問 市保険年金課(☎0833・9334・2803)、各総合支所総合サービス課

※社会保険料控除については、市市民税課(☎0833-9334-2735)

山口・防府圏域内紹介 バスツアー参加者募集

山口市・防府市・阿東町のさまざまな見どころを、探訪してみませんか。

期日 11月23日(日・祝)

場所 徳佐りんご園、船方牧場、道の駅「仁保の郷」、防府天満宮、潮形市場

集合・解散場所 各総合支所、市民会館前、山口南総合センター(名田島1-218-1)のいずれかを選択

対象 市民55人程度(応募者多数の場合には抽選)

参加費 1人2000円(昼食代、保険料含む)

申問 10月24日(金・必着)までに、往復八ガキに代表者の〒住所・日中の連絡先、全員の氏名(ふりがな)・生年月日・性別、希望集合場所を明記の上、市企画経営課(山口総合支所

☎0833・9334・2728)
※八ガキ一枚につき、4人まで申込可



昨年の様子

- 山口総合支所
- 小郡総合支所
- 秋穂総合支所
- 阿知須総合支所
- 徳地総合支所

| | | | | |
|------------|------------|------------|------------|------------|
| 〒753・8650 | 〒754・8511 | 〒754・1192 | 〒754・1292 | 〒747・0292 |
| 亀山町2・1 | 小郡下郷609・1 | 秋穂東6570 | 阿知須2743 | 徳地堀1744 |
| ☎0833・9222 | ☎0833・9733 | ☎0833・9844 | ☎0833・6544 | ☎0833・5211 |

ご利用ください「市業況悪化対策特例融資」

原油・原材料価格の高騰や景気の低迷により、経営に影響を受けている中小企業への融資制度です。融資利率・据置期間・保証料負担が、市のほかの融資制度よりも軽減されます。

■お問い合わせ 市商工振興課(☎083-934-2812)

用途 運転資金

融資限度額

1事業者当たり750万円

返済期間 5年以内(据置期間1年)

融資条件(すべてに該当すること)

- ・市内に主たる事業所を有し、かつ引き続き同一事業を1年以上営んでいるもの
- ・経営改善計画が適正であり、おおむね今後3年以内に業績の回復が見込まれ、貸付金の返済能力が認められるもの
- ・市税等をすべて完納しているもの
- ・信用保証対象業種を営むもの

融資対象(いずれかに該当するもの)

ア最近3カ月間の月平均売上高に占める月平均仕入高の割合が、前年同期

に比べて5%以上増加していること
イ最近3カ月間の月平均売上高総利益が、前年同期に比べて5%以上減少していること

融資利率 1.9%

※融資対象アまたはイに該当し、月平均売上高が前年同期比10%以上減少の場合は、特別利率1.7%を適用

保証料率 0.19~0.8%

保証料補助 2分の1

※特別利率適用または保証額300万円以内・償還期間5年以内の小規模企業者は、全額補助

連帯保証人 法人代表者以外は不要

担保 原則不要

申込先 山口・西京の各銀行、山口・西中国の各信用金庫

山口情報芸術センター 開館5周年記念事業



11/1(土)～
3(月・祝)

■場所・問い合わせ 山口情報芸術センター(中園町7-7 ☎083-901-2222)

シンポジウム

アートと情報メディアのさらなる可能性を探る

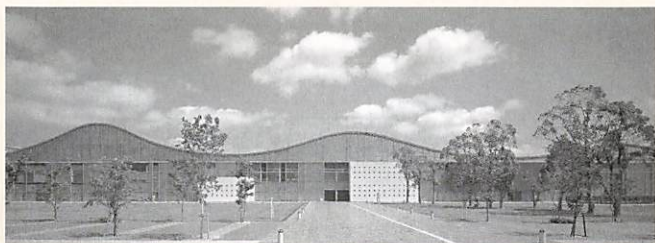
情報と文化の交流拠点 山口情報芸術センター(以下 YCAM)開館5周年を記念し、これまでの活動とその成果の紹介、3つのテーマによるシンポジウムを開催します。(無料 申込不要)

● YCAMコミッションワークの軌跡と展望

～山口発、世界を巡るアート作品～

ほかのどこでも生まれ得なかった作品を制作・紹介してきたYCAM。国内外で巡回展示・上演された作品の反応や5年間の業績を振り返りながら、地方の文化施設が果たす役割、アートと情報メディアの今後について考えます。

■日時 11月1日(土) 14時～16時30分



● メディアアートとニュープロダクション

～プロダクション・コミュニティの出現とその可能性～

インターネット上のフリー百科事典「Wikipedia」などのように特定の企業や組織を越えた共作、互いの作品の共有や改変など、情報社会で広がる新しい創作の方向性を考えます。*同時通訳有

■日時 11月2日(日) 14時～16時30分

● 発想を発見する

～アートセンターから発信するもうひとつの教育～

YCAMでは、従来の教育にとらわれない新しい形のメディア教育を目指しています。自然環境・社会環境と並ぶ、新たな第三の環境「メディア環境」の視点から、造形感覚、時間感覚、独自性と共有の発展感覚を探求します。

■日時 11月3日(月・祝) 14時～16時30分

11/1(土)～
平成21年2/8(日)

特別
企画展

ミニマム インターフェース

情報化社会の多様性を表現するキーワード「インターフェースの未来」をテーマに、国内外から8組のアーティストを招き、YCAMオリジナル企画のグループ展「ミニマム インターフェース」を開催します。(無料)

■日時 11月1日(土)～平成21年2月8日(日)12時～19時(土日・祝日の場合10時～19時)
*毎週火曜、12月29日～平成21年1月3日は休館(祝日の場合は水曜休館、12月24日は開館)

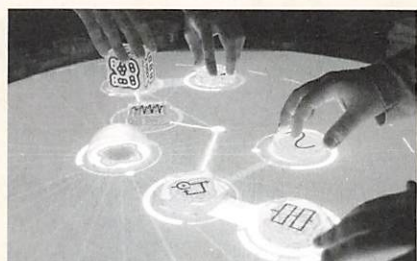


Photo : Xavier Sivecas

リアクティブ ● reactTable

歌手ビョークの公演「Volta」での演奏をきっかけに、大きな注目を集めた電子楽器「reactable」。観客は、光る円卓上で、複数の物体を動かしたり、回転させたりすることで、直接触れながら音楽と映像を操作・体感できます。話題の楽器の国内初公開をお楽しみに。

セルジ・ジョルダ、マルティン・カルテンブルネル、
ギンター・ガイガー、マルコス・アロンソ【スペイン】

リキッドスペース ● Liquid Space 6.0

有機的な形態をした建築的作品。観客が作品に近付くと3本の「アーム」が伸縮・変形。またアーム内部のLED(発光ダイオード)がさまざまな色に発光し、出力される音も変化します。オランダの新鋭建築家の作品の、国内初紹介です。

ダーン・ローズガールデ【オランダ】



"Liquid Space 6.0"
by Studio Roosegaarde

上記2作品のほか、新作3作品を含む6作品を館内各所に展示します。

都市計画下水道の変更 素案説明会・公聴会

平成17年度に行つた用途地域の拡大に合わせ、「山口都市計画下水道」に次の地域を加える変更を行う予定です。



詳しくは、お問い合わせください。

■**変更地域** 大内(大内御堀)、宮野(宮野下)、湯田(赤妻町)、平川(黒川)の各地域の一部

■**素案の閲覧開始日** 10月2日(木)

※土日・祝日を除く

■**素案の閲覧場所** 市下水道建設課

【説明会】

■**日時・場所**

・10月9日(木) 19時から 大内公民館

・10月10日(金) 19時から 平川公民館

・10月11日(土) 14時から 山口総合支所第11会議室

【公聴会】

公聴会で意見を述べるには、事前に公述書の提出が必要です。提出がない場合は、開催しません。

■**日時・場所** 10月31日(金) 14時から 山口総合支所第7会議室

■**公述書の提出方法** 10月24日(金) 必着)までに、備え付けの様式で直接または郵送で市下水道建設課

■**申請** 市下水道建設課 (〒753-0043 宮島町7-1 ☎083-9043-6666)

0043 宮島町7-1 ☎083-



10月1日(水)以降の ごみステーションからの ごみ・資源物の持ち去りについて

■お問い合わせ 市ごみ対策課 (☎083-941-2185)

❗ **ごみ・資源物を
持ち去ることはできません**

自治会・町内会などのごみステーションに出されたごみ・資源物の多くは、市がリサイクル処理し、貴重な資源として生まれ変わっています。しかし最近、一部の心ない業者等がごみ・資源物を大量に持ち去る事態が発生していることから、市では条例を改正し、ごみステーションに出されたものを市の所有物とし持ち去りを禁止しました。(10月1日から施行)

注意! ・持ち去りは、絶対にしないでください。
・まだ使えそうな物で、もったいないと思っても、ごみステーションに出されたものを持ち去らないでください。

❗ **持ち去り防止のため
パトロールを実施します**

市では、ごみステーションからの持ち去りを防止するため、各地域でパトロールを実施します。

❗ **持ち去りを発見したときは…**

自治会・町内会などのごみステーションで不審な行為を発見しても、注意しようと声を掛けたりしないでください。(市がパトロール対応します)

今年のテーマは
もったいない
「『MOTTAINAI』
混ぜればごみ
分ければ資源」

★やまぐちエコパークまつり

10月12日(日) 9時～15時 ※雨天決行 ★
市リサイクルプラザ (大内御堀489-8 ☎083-927-7122)

10月は
「循環型社会
形成推進月間」

★市不燃物中間処理センター見学会
(11時から、13時から)

★夏休み子ども作品の表彰(10時～10時30分)

★フリーマーケット、衣類の販売(9時～15時)

★おもちゃの病院(10時30分～12時の間、受け付け)

★リサイクル作品展示コーナー(9時～15時)

★紙のリサイクル・びんのリサイクル展示
(10時30分～15時)

★体験コーナー

(10時30分～15時 ※一部時間が異なります)
パッチワーク、トルペイント、生ごみ堆肥で花作り(先着100人)、EM菌による環境改善、牛乳パックで工作やハガキ作り、さき織り など



★もちまき(10時30分<小学生以下対象>、14時40分)

★バザー(9時～14時30分)
食べ終わったら分別してみよう!

★リフォームファッションショー
(11時30分～12時)

★ペットボトルボウリング、分別に挑戦(10時30分～14時30分)

★リサイクルクイズ(リサイクル自転車を
ゲットしよう!)(12時～13時)



・駐車台数に限りがあるため、乗り合わせの上、お越しく下さい。
・当日は、資源物の持込場所が変わります。係員の誘導に従ってください。

10月3日(金)～13日(月・祝)、市中心商店街に
彩り豊かな秋の催しがやってくる!

秋の祭りフェスタ

かりやざきしょうご 假屋崎省吾イベント

華道家 假屋崎氏による講演・実演・創作展示です。

■日時 10月5日(日) 13時から
■場所 山口井筒屋、創作展示は商店街内店舗

モールサーカス

ジャグラー、空中芸などのサーカスをお楽しみください。

■期日・場所 10月9日(木)～13日(月・祝)、Nac前 ほか

あつひめ 篤姫展

ドラマ「篤姫」の衣装や番組紹介パネルを展示します。

■期日・場所 10月3日(木)～13日(月・祝)、どうもんパーク

県立図書館まちなかライブラリー(市まちと文化推進事業)

昔のレコードや商店街の昔の写真、資料を鑑賞できます。

■期日 10月11日(土)～13日(月・祝)
■場所 商店街空き店舗(どうもん広場隣)

このほか、たくさんのイベントが目白押し!
詳しくはホームページで。

■問い合わせ 実行委員会(☎083-925-2300)

☞ http://www.yamaguchi_iccho.jp/

10月15日(水)は「県内 一斉ノーマイカーデー」

ガソリンなど化石燃料の使用による地球温暖化の防止の一環として「県内一斉ノーマイカーデー」を実施します。



日ごろ自家用車で通勤している方は、電車やバス等の公共交通機関や自転車等を利用しましょう。

またこれをきっかけに、可能な限り車の使用を控える「エコライフ」に取り組みましょう。

☎ 市交通政策課

(☎083-934-2729)

障がいのある方に 「ふれあいレク大会」

■日時

10月19日(日) 10時～15時

■場所

県セミナーパーク(秋穂二島1062)

■内容

卓球、囲碁、レクリエーションボッチャ、グラウンドゴルフ、講演など

※

グラウンドゴルフのみ雨天中止

■対象

障がいのある方、障がい者ボランティア(一人一種目に限る)

■参加費

無料(昼食は有料であっせん)

■持参品

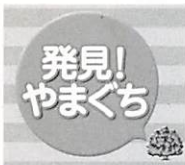
飲み物、運動できる服装

■申込

10月3日(金)までに、山口県腎友会(☎083-921-6222)

ご覧ください

山口市の広報番組 10月の放送予定です



2コーナーで構成。人やまちの魅力を紹介する、市民参加型の情報番組です。

山口ケーブルビジョン(12チャンネル)

■「このまちに愛たい」[infoやまぐち]番組表

| 曜日 | 10/1(水) ～15(水) ① | 10/16(木) ～31(金) ② |
|------------|-----------------------------|---------------------------|
| 月・水 金・日 | 7:35 *12:25 18:05 *22:10 | 7:35 12:05 18:05 21:50 |
| 火・木 土 | *7:55 12:05 *18:25 21:50 | |

※「infoやまぐち」のみの放送(10分)

「このまちに愛たい」(20分)

- ① 「おいでませ!山口国体」に向けて～山岳競技～
- ② 全国山頭火フォーラム in やまぐち

「infoやまぐち」(10分)

1週間更新で、市からのお知らせを放映

○番組の感想をお寄せください

〒753-8650 山口市亀山町 2-1
市広報聴課あて
☞ koho@city.yamaguchi.lg.jp



市政のPRから地域情報まで、生活に身近な話題を幅広くお届けします。

山口朝日放送(YAB)

毎週水曜 13時55分から4分間放送

1日 「子どもが病気のときのホームケア」

8・15日 「行ってみよう!小郡図書館」

22・29日 「歴史シリーズ」

私たちのまち



主に市政情報や市からのお知らせを分かりやすくお伝えする番組です。

テレビ山口(TYS)

毎週日曜 11時40分から4分間放送

5日 「ご存じですか? 子どもの急な病気への対応」

12・19・26日 「小郡図書館開館」

夏の夜の思い出に

猛暑の夏の終わりに、すてきな屋外コンサートへ行ってきました。市民で構成されるアマチュアバンドだけに、演奏者の家族や知り合いが集うアットホームな雰囲気の中、演奏が行われました。夏の夜の思い出に残る、すばらしい調べでした。(8月30日)



ペンネーム
モダナさん



おもてなしの心を紙芝居に込めて

「おいでませ山口 デスティネーションキャンペーン」期間中に湯田温泉を訪れた人に、その魅力を満喫してもらおうと、中原中也記念館職員ら地域ぐるみによる紙芝居が、観光案内所で上演されました。足湯に浸かった後の観光客は、福田百合子館長らが解説し語る文学の世界に、しばし時を忘れ、聞き入っていました。(8月22日)

ほれっ、それっ、入れ!

阿知須の60歳以上の高齢者が参加した「生き生き ねりん大運動会」。玉入れでは「こっちから投げると、入りやすいよ」と声を掛け合いながら、チーム一丸で取り組み、スポーツの秋にふさわしく大いに盛り上がっていました。(9月9日)



振り込め詐欺にご注意を!

最近県下で、新手的振り込め詐欺が多発。徳地でも被害が発生したことから、山口警察署が県警音楽隊によるドリル演奏会に併せ、振り込め詐欺防止のミニ劇場を催しました。演奏の素晴らしさに加え、演技がおもしろく分かりやすく、市徳地文化ホールを埋めた観客から、喝采を受けていました。(9月1日)



ペンネーム
森の熊さん



山口市民特派員 まちかど レポート

8・9月の主なできごと

イベントや季節の風景など、市民特派員から寄せられたまちの話題を掲載します!

ただいま市民特派員募集中!

■問い合わせ 市広報広聴課
(☎083-934-2753)





花いっぱい、笑顔いっぱい
 「小郡花いっぱい運動コンクール」が開催され、日ごろ地域の人々の目を楽しませている30団体の花壇の審査が行われました。すべての花は、心を込めて手入れをしてきたみなさんの笑顔のように、満開に咲き誇っていました。(9月1日)



山口のまちと歩んだ153年の歴史に幕
 幕末創業の呉服屋に始まり、山口のまちとともに歩んできた百貨店「ちまきや」が、この日閉店を迎えました。別れを惜しむ多くの市民らが、それぞれの思い出を抱え見守る中、153年にわたる歴史に、静かに幕が下ろされました。(8月31日)



めざせ！えび狩り世界王座

車えび養殖発祥の地で知られる秋穂の中道海水浴場で、恒例の「えび狩り世界選手権大会」が開催され、国内外から多くの参加がありました。今年の世界一の栄冠は、110尾を捕まえた方が手にしました。(8月30日)



表紙写真から
「森林セラピー基地」

休憩・宿泊などの施設を備えた、徳地地域の「森林セラピー基地」には、趣の異なる「大原湖畔」「愛鳥林」「長者ヶ原」の3つのエリアがあります。

8月25日から5日間行われた、「山口徳地青少年自然の家」主催の小学校自然体験活動「自然と「ラボ」山・森・川が教えてくれる」。そのプログラムの一つとして、この日は長者ヶ原エリアで、間伐体験と間伐材を利用したツリーハウス作りを行いました。間伐することで健康な森林の形態が保たれることや、のこぎりの正しい使い方などを教えてもらいながら、自分たちの何倍も大きい木を切り倒していく子どもたち。木の枝を落とすなどの加工の後、ついにツリーハウスを完成させました。



間伐材を切る子どもたち

出来上がったハウスの上での、待ちに待ったお弁当の時間。「森の中で食べるごはんは、おいしいね」と笑顔で語る子どもたちは、大自然の中で、協力し合うことや森林を守ることの大切さを学び、また一つ成長したに違いありません。

■問い合わせ

市林業振興課森林セラピー推進担当

☎08335・52・1126

イベントカレンダー



※開催場所・時間など詳細はお問い合わせください。

| 開催日 (曜日) | イベント名(開催地域) 問い合わせ先(電話番号) | 5 (日) | 山口盲ろう者友の会 設立10周年記念講演会 (山口) 市高齢障害課 (☎083-934-2794) | 18 (土) | 市史編さん講演会 「大内氏と室町幕府」 (山口) 市文化政策課市史編さん室 (☎083-934-0200) |
|-------------|---|---|---|---------------|---|
| |  アンサンブルズ 「ENSEMBLES」展 (~13日) (山口) 山口情報芸術センター (☎083-901-2222) | 9 (木) | 山口シティカレッジ公開講座 「日本の中流社会は崩壊するか? ~どこまで広がる格差社会~」 (山口) 市生涯学習課 (☎083-934-2866) | | 一人芝居「土佐源氏」 (山口) C・S赤れんが (☎083-928-6666) |
| 1 (水) | ミニ展示 「いただきます~す」 (~11月30日) 「海を拓く」 (~12月27日)(小郡) 市小郡文化資料館 (☎083-973-7071) | 12 (日) | 公開講演「中原中也のいごこち」 (山口) 中原中也記念館 (☎083-932-6430) | 19 (日) | 森林セラピー体験イベント ~日暮ヶ岳登山~ (徳地) 市林業振興課 (☎0835-52-1122) |
| |  企画展「美と痛み~大和保男の 陶と中原中也」 (~12月14日) (山口) 中原中也記念館 (☎083-932-6430) | 13 (月・祝) | やまぐちエコパークまつり (山口) 市リサイクルプラザ (☎083-927-7122) | 11/1 (土) | 子どもの救急市民講座 (山口) 市健康増進課 (☎083-921-2666) |
| 2 (木) | 種田山頭火の足跡に建つ句碑を 巡る写真展 (~12日) (小郡) 市小郡文化資料館 (☎083-973-7071) | | ものづくりフェスタ2008 (山口) 県労働政策課 (☎083-933-3234) | | 山口情報芸術センター5周年 記念シンポジウム (~3日) (山口) 山口情報芸術センター (☎083-901-2222) |
| 3 (金) | やまぐち秋の彩りフェスタ (~13日) (山口) 実行委員会 (☎083-925-2300) | 15 (水) | 市エンジョイスポーツシーズン 各種大会・教室 (各地域) 市スポーツ振興課 (☎083-934-2874) | 11/2 (日) | 「ミニナムインターフェース」展 (~平成21年2月8日) (山口) 山口情報芸術センター (☎083-901-2222) |
| | 全国山頭火フォーラムinやまぐち (~5日) (山口) 実行委員会 (☎083-934-2717) | | 県内一斉ノーマイカーデー 市交通政策課 (☎083-934-2729) | | 市徳地フェスティバル2008 (徳地) 徳地商工会 (☎0835-52-0026) |
| 4 (土) | アートふる山口 (~5日) (山口) 実行委員会 (☎083-920-9220) |  16 (木) | 宮本常一写真展 (~22日) (山口) C・S赤れんが (☎083-928-6666) | | おごおり文化祭 (~3日) (小郡) 実行委員会 (☎083-973-0638) |
| |  伝承センターものづくり体験 (~5日) (山口) 伝承センター (☎083-928-3333) | 17 (金) | 習作展・チャリティーバザー (山口) 山口ふれあい館 (☎083-923-3351) | 11/3 (月・祝) | あいお祭り (秋穂) 実行委員会 (☎083-984-8021) |
| | 小郡図書館内覧会 (~5日)(小郡) 小郡図書館 (☎083-973-0098) | |  あしたへ トライ 活気と魅力にあふれた まちであり続けるために | | あいお花火まつり (秋穂) 秋穂商工会 (☎083-984-2738) |
| | | | | | きらら館まつり (阿知須) 阿知須図書館 (☎0836-66-0001) |

山口市長 渡辺純心



えび狩り世界選手権大会(8月30日)

**あしたへ
トライ**

活気と魅力にあふれた
まちであり続けるために

先口策定した「山口・小郡都市核づくり
マスタープラン」では、山口・小郡の両都
市核が、県都の将来都市像「広域県央中
核都市」の拠点にふさわしい機能や表情
を持ち、さらに活気にあふれるための方
策を示しました。今後両都市核が発展し、
市民の暮らしや地域経済を支えること
も、より広域的に存在感を発揮できる
よう取り組んでいきます。

また地方を取り巻く状況が一層厳し
さを増す中、目指す都市像の実現には、
市域を越えた周辺地域との広域的な機
能分担・連携が重要です。

豊かな歴史・文化・観光資源や中山間
地域の恵みなどの多様な産業、港湾、空港、
駅、高速道路等、各都市の強みを生かし、
人もの情報等が交流する「広域経済・交
流通」、その中心として国内外に存在感を
発揮できる人口30万人以上の「広域県央
中核都市」づくりをみなさんと進めます。

かつて山口を中心に西国に勢力を誇っ
た大内氏が、広く海外と交易し、その文化
を受け入れ、欧州の地図に山口の名を刻
んだように、まちの持つ活力や古今の文
化を発信し人々を引き付ける、活気と魅
力にあふれたまちであり続けたいですね。